

1 はじめに

九博ボランティアイベント部会は、九博に来館した方々への日本の四季の折々のイベントを紹介すること、また、ボランティアの方々の交流を図るべく館外研修などを企画運営しています。

2 部会について

(1) スタッフ人数

- ① 平成23年度 部員数 10名 実働 5名
 第2期生 男性 3名 女性 1名
 第3期生 男性 2名 女性 4名（内2名は学生）
- ② 平成24年度 部員数 6人 実働 3名
 第2期生 男性 3名 女性 1名
 第3期生 男性 1名 女性 1名
- ③ 平成25年度 部員数 6人 実働 4名
 第2期生 男性 3人 女性 1人
 第3期生 男性 1人 女性 1人

(2) 活動日

- ① 部会：毎月第3土曜日（代表定例会の日）午後1時30分から午後3時までです。
- ② 代表と副代表は、第3土曜日の定例会（各部代表・副代表と交流課の運営会議）に出席
- ③ 活動：イベントの日は日曜に設定することが多く、年に5～6回の活動になります。

(3) 活動内容

第3期の活動内容の概要を、暦の1月～12月までを順を追って紹介します。

① 正月、正月餅つき振る舞い

新年の寿ぎと来館者への新年のご挨拶と感謝を込めて、ボランティアと館の職員さんも一緒に餅つきをして、来館者の方に召し上がっていただきます。毎年、正月の松の内に餅つきをボランティア総出で行います。

企画を立案し提出します。準備は12月から行い、餅にかける黄な粉や砂糖、容器、楊枝などを買い揃えます。手伝いのボランティアさんへの参加を呼び掛けて係を決めておき、事前の説明会を開きます。そして、同時にイベント担当にも企画の説明をします。

当日は、早朝からテント張り会場設営を終え、館長の杵入れで始まり、次々に出来上がる餅を約600人の来館者に配ります。修了後は片づけし、お茶お菓子で一息入れ、館内の各部署やボランティアさんにもお土産の御餅を配ります。

② 正月 新春書初め

新年の寿ぎと新年の希望を込めて、来館者の方々に書き初めをして頂きます。

企画を立案し提出します。例年、第1日曜日にホールで書き初めを行います。緋毛氈の上

で皆さんの今年の希望や、干支などを書いて頂き、ボードに貼ります。1週間ホールに展示します。

平成25年度から、展示後、太宰府天満宮様に奉納するようにしました。

お手本を有段者に書いて頂き、受付やボード、毛氈の上に貼ります。お手伝いの方は12月に募集します。準備は、12月に、筆や、墨汁、墨汁入れ、下敷き、文鎮、習字紙などを買い揃えます。そして、イベント担当に企画の説明をし、前日設営します。

③ 6月 町歩き

平成25年度に初めての企画です。企画を立案し交流課に提出します。町歩きボランティアガイドさんに案内を依頼しました。櫛田神社境内から出発し、「博多町家」ふるさと館、博多山笠飾りを見物、昼食は各自分散し博多の味、その後、東長寺、妙楽寺、聖福寺、承天寺と巡り、歴史の話を交えての散策をしました。

博多五大発祥の碑を見て博多の歴史を学びました。新しい博多の街の発見でした。

④ 8月 七夕祭り

月遅れの8月7日に大きな竹飾りと笹飾りを飾ってみんなの願いを短冊に書いて頂きます。

平成25年度から、後日太宰府天満宮さんに奉納するようにしました。関東では7月7日に行われる七夕祭りは、関西地方では旧暦に行うところが多いようです。8月は梅雨も終わり夜空も澄み渡り、星も良く見えます。また、夏休みに入っているので海外からの学生の研修も多く、来館記念に七夕の短冊を書いて行く人が多いです。国は変わっても人の願いは同じようで、皆さん真剣に書いて行かれます。

準備は、短冊と紙縋りを揃えます。7月にボランティアの方々にも短冊に願い事を書いて頂きます。

また、平成25年度は、7月のJR駅構内の幼稚園の笹飾りを、現地まで行き、西陽の中を汗だくで譲りうけました。外の竹は、前日に前庭から職場体験で九博に来ている中学生と一緒に山から切り出します。館内の竹は、虫除けのためプラスチックです。イベント担当に企画の説明をし、会場は、前日の夕方から配置します。

また、平成25年度に初めて浴衣の試着を企画しました。女性用男性用子供用も用意しました。浴衣や帯、下駄はボランティアさんの貸出、着付けもボランティアさんです。国内外を問わず非常に喜んで頂き、大盛況でした。

⑤ 9月 古都の光に参加

太宰府の関屋から天満宮までを灯籠で照らし出す商工会や古都保存会の方々の行事の一環で、小学生の書いた手書きの絵灯籠を館の入り口に並べ点火します。

⑥ 11月 館外研修

例年、ボランティアの資質向上のため併せて各部交流のために館外研修の企画を立案し提出します。

平成23年度は熊本城、平成24年度は壱岐市立一支国博物館、平成25年度は世界遺産登録を目指している宗像沖ノ島関連遺産群を巡ねました。事前に、訪問先の観光課や学芸員さんと打ち合わせをし、当日説明して頂きます。できれば事前に下見をして、食事場所や休憩場所を決め、スケジュールや予算を見積もります。また訪問先への土産品の手配もします。スケジュール表を作成し、募集チラシを作成貼り出し、各部会ボランティアの方々の参加者を募ります。

以上です。皆さん、イベントの企画を立て来館者やボランティアの方々と九博を楽しみましょう。

3 年度ごとの活動報告

(1) 25年度の活動

- ① 年間活動計画 提出
- ② 平成25年6月30日(日) 博多町歩き



ふるさと館にて



東長寺・承天寺



饅頭発祥の碑

③ 平成25年8月9・10・11日(金・土・日)

七夕祭り



浴衣の着付け

七夕飾り



短冊(奉納)



イベント部員と
お手伝い他部会

④ 平成25年11月15日(金) 館外研修

新原・奴山古墳、むなかた館、大島沖ノ島遙拝所



むなかた館で現地ボランティアとの交流

大島中津宮、宗像大社辺津宮、高宮、神宝館



大島 沖ノ島遙拝所

⑤ 平成26年1月5日(日) 新春書初め



作品奉納

受付



今年の干支は“馬”



立派な小学生の“初春”



(2) 24年度の活動

① 平成24年7月8日(日) 研修会

壱岐市立一支国博物館

ガイドボランティアの方々と九博ボランティア

七夕飾り

青い法被を着た方たちが
ガイドボランティア



② 平成24年8月4～5日 七夕まつり

③ 平成25年1月3日(木) 新春餅つき会

館員さんの参加

配膳の説明

長蛇の列



④ 平成25年1月6日(日) 新春書初め会

真剣な眼差し

震災への復興の
願いを込め



(3) 23年度の活動

① 平成23年7月24日(日) 研修会 熊本城

② 平成23年8月4～7日 七夕まつり

③ 平成24年1月3日(火) 新春餅つき会

④ 平成24年1月8日(日) 新春書初め会

熊本城を背景に

